

## 東芝空調換気扇 取付説明書

形名

VFE-50S

この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。

取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。



別冊の取扱説明書及びこの取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

### 安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。



ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。









\*物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

#### 図記号の例








表 示	図記号の意味
 改造禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は○の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 取付は依頼	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「取付は専門業者に依頼」を示します。

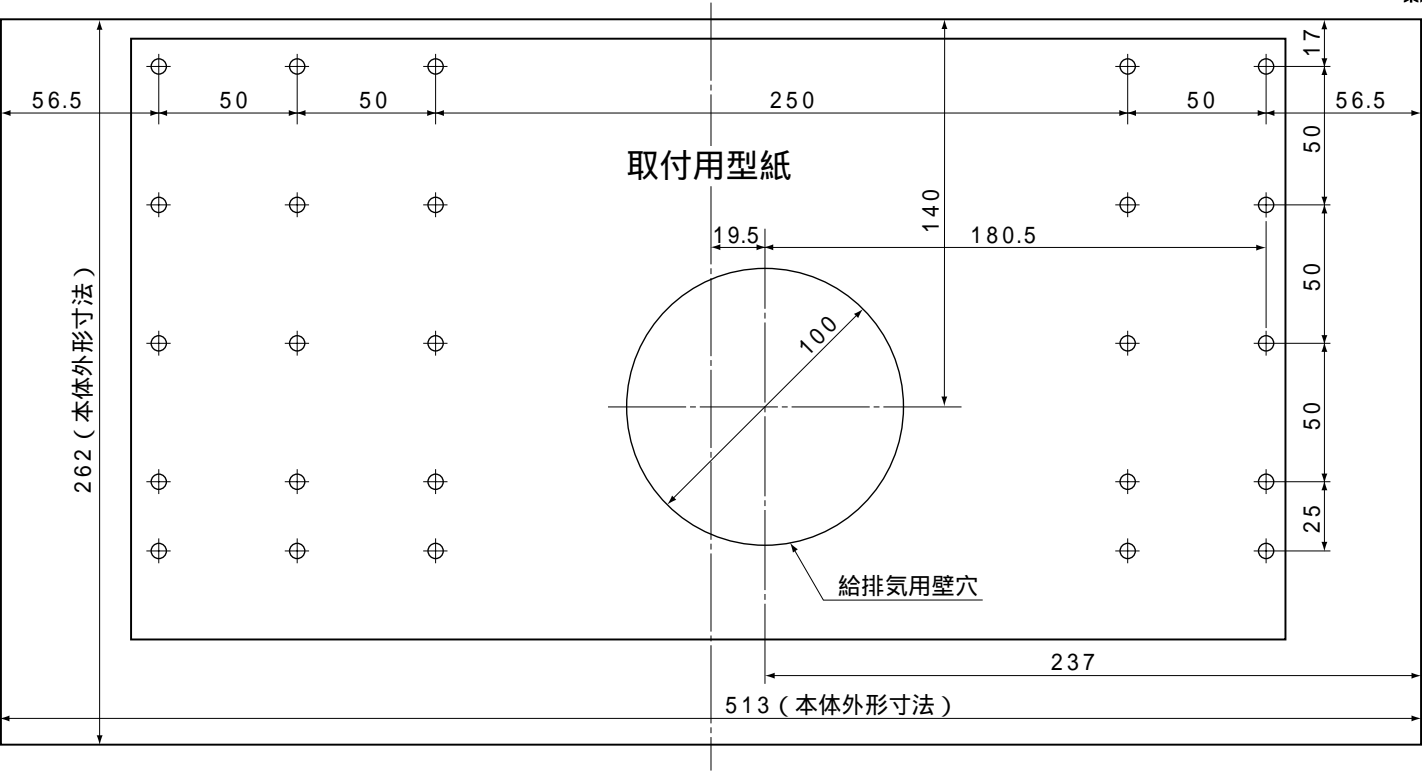
取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

## ⚠ 警告

 取付は依頼	取付・移設は、お買上げの販売店または専門業者に依頼すること 取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
 電気工事が実施	電気工事は電気工事士( )が行うこと 電気工事士以外が行うと、火災・感電・けがの原因になります。 ：電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
 確実に取り付ける	取付は取付説明書に従って確実にすること 取付が不完全なときは、水漏れ・感電・火災・部品落下によるけがの原因になります。
 改造禁止	改造はしないこと 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理( )をしないこと 火災・感電・けがの原因になります。 ：修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 給気は確実に	給排気口は燃焼ガスや有毒ガスなどを吸い込まない所にする また積雪で給排気口をふさがない所にする 新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。
 確実に取り付ける	強度のある所に確実に取り付けること 落下により、けがをする原因になります。
 交流100V使用	電源は交流100Vを使うこと 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

## ⚠ 注意

 取付禁止	天井面に取り付けないこと 落下し、けがをする原因になります。
 排水は確実に	前後左右に傾けて取り付けないこと またドレンパイプ(給排パイプ)は確実に排水するよう取り付けること 水漏れの原因になります。
 取付禁止	浴室など湿気の多い所には取り付けないこと 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 取付禁止	炎が接近したり、あたる恐れのある所には取り付けないこと 火災の原因になります。
 接触禁止	メタルラス張りなどの金属造営材に接触しないように取り付けること 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 下りこう配に取付	給排パイプは室外に向かって下りこう配に取り付けること 雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。
 確実に取り付ける	本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付けること 落下により、けがをする原因になります。

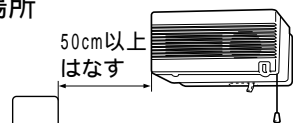


(単位mm)

# 取付上のお願い

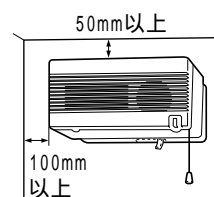
次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所  
ガスレンジの真上  
ガス湯沸器の真上
2. 浴室など湿気の多い場所
3. 台所など油煙の多い場所
4. 腐食性ガスの発生する場所
5. 暖房器・加湿器の近くや真上
6. 直射日光が当たる場所
7. 照明器具から2m以内の場所



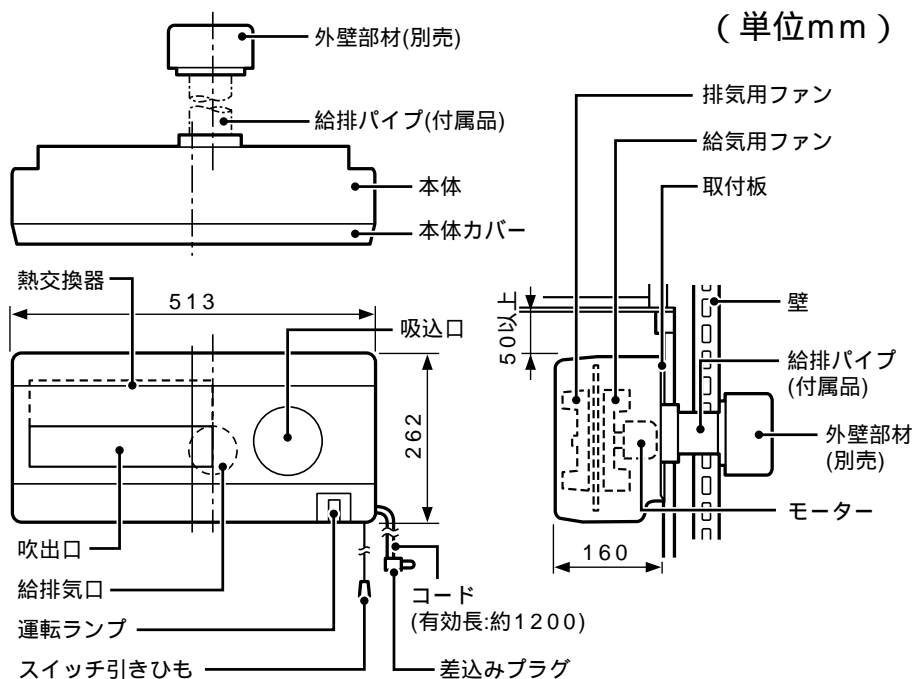
製品は直接壁に取り付けますので、下記条件に合う場所を選んでください。

1. 風の吹出口、吸込口に障害物のないところ
2. 本体カバーがはずせて熱交換器を前に引き出せるところ
3. 製品の下側に障害物がなく、スイッチ引きひもが操作しやすいところ



## 各部のなまえと寸法

（単位mm）



## 付属品

取付工事をはじめる前に付属品の種類と数を確認してください。

パイプ.....1本	
パッキン.....1本 (パイプ用)	
木ねじ.....4本 (取付板固定用)	
コード 左出し 用	タッピンねじ...1本 
	コード止め.....1コ 
	割りチューブ...1本 

## 別売部品をご利用ください

詳しくはカタログをごらんください。

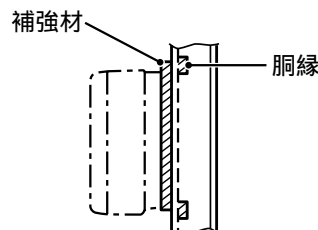
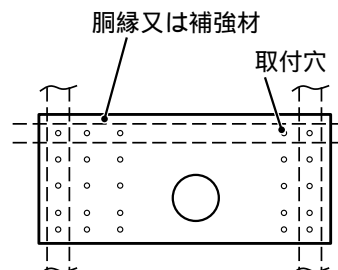
- パイプフード .....C-702R, C-702RK 樹脂製  
C-703R, C-703RK 鋼板製  
C-704R1 ステンレス製
- 防火ダンパー付ウエザーカバー .....C-171D 鋼板製
- 防火ダンパー付パイプフード .....C-704RD1 ステンレス製

# 取付方法

- 1** 型紙を利用し、下記の点に注意して取付場所を選んでください。

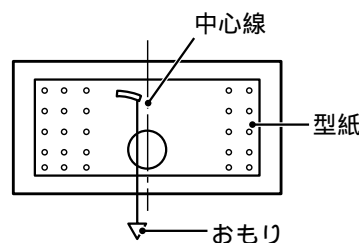
本体質量が約4.3kgありますので取付穴が胴縁にかかるようにしてください。適当な胴縁がないときは、補強材を設けて本体をとりつけてください。取付場所が弱いと振動・騒音・落下の原因となりますのでご注意ください。

壁穴（100）の位置が、屋内配線、電話ケーブル、柱などの障害物にかからないようにしてください。

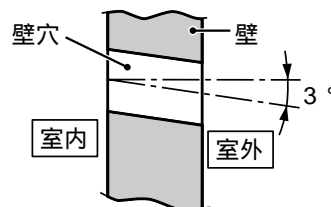


- 2** 型紙を利用し、壁穴の位置をもとめてホールコアドリルで壁に100の穴をあけてください。

おもりを下げて中心線に合わせ水平を求めます。

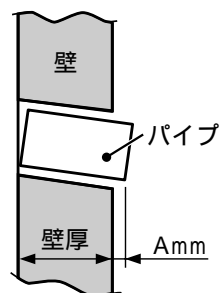


壁穴は必ず室外側に3°の下りこう配となるように穴あけしてください。

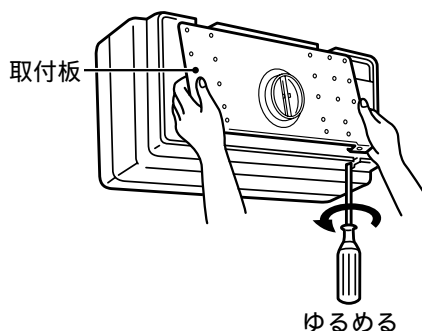


- 3** 付属のパイプを壁厚 + A mmの長さに切断します。

外壁部材の種類によりA寸法が異なりますので、詳しくは外壁部材の取付説明書をごらんください。バリがでた場合は、取り除いてください。



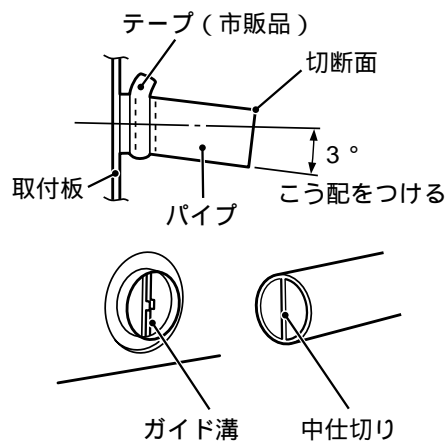
- 4** 本体下部の本体固定ねじ2本をゆるめ取付板を本体からはずします。



**5** 付属のパイプを取付板に結露水がもれないように十分にテープまたは接着剤で固定します。

右図のようにこう配をとってください。

パイプの中仕切りを取付板のガイド溝に確実ににはめ込んでください。

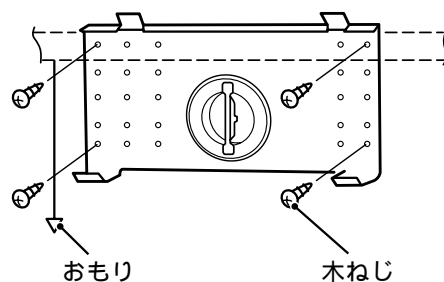


**6** 取付板に取り付けたパイプを壁穴に入れ、付属の木ねじ4本で取付板を固定してください。

取付板には取付用の穴がいくつかあいていますが胴縁や補強材に固定できる穴をつかってください。

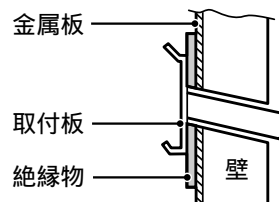
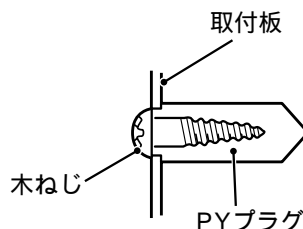
木ねじが1ヵ所に集まらないように四すみに分散してください。

おもりを釣り下げて取付板が水平になるように木ねじで固定してください。寒冷地や冬期室内の湿度が高くなるところでは熱交換器の除湿作用で、熱交換器から結露水が出ます。この結露水はパイプを通り屋外へ排出するようにしてありますので、製品が前後左右に傾かないよう注意して据え付けてください。(左へは絶対に傾かないように注意してください。)

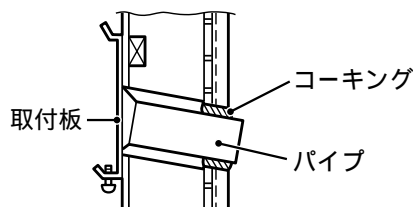


コンクリート壁の場合は、PYプラグなどを使用し木ねじで固定するか、コンクリート釘で固定してください。

「メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属張りなどの木造の建物に換気扇を取付ける場合は、メタルラス、ワイヤラス、及び金属板などと換気扇の金属部分とが、電氣的に接続しないように施設しなければならない」とされているように、取付板と金属板の間に絶縁物をはさんでください。



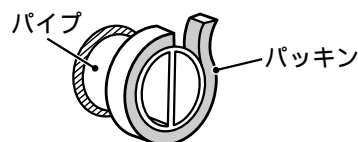
**7** 壁穴とパイプのすき間から雨や風などが入らないようコーキング材などを用いてすき間をコーキングしてください。



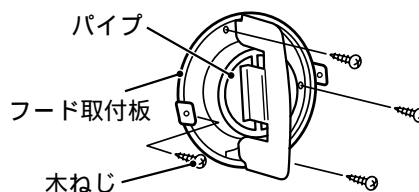
## 8 別売の外壁部材（パイプフード等）を、壁面に取り付けてください。

取付例 C-703Rの場合

(1)パイプの先端に付属のパッキンを貼り付けてください。

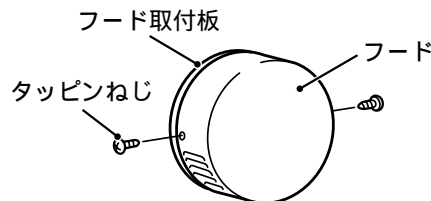


(2)フード取付板をパイプにはめ込み、付属の木ねじで壁面に締め付けてください。



ご注意  
「上」の文字が必ず上になるように取り付けてください。

(3)フードをフード取付板にかぶせ付属のタッピンねじで締め付けてください。



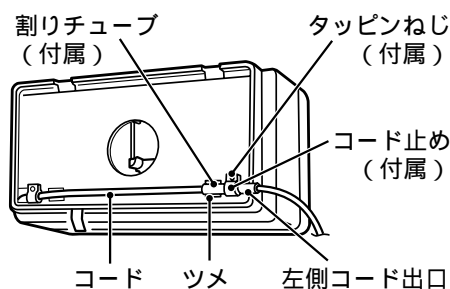
(4)フード取付板と壁面の間をコーキング材などでコーキングしてください。



## 9 コードを左側から出す場合は右図のようにコードを配線します。

ツメとコード止めの部分には付属の割りチューブをかぶせてください。

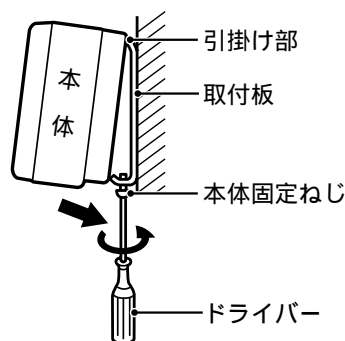
コードは右図のようにたるみのないように配線してください。



## 10 本体上部の金具を取付板の引掛け部にしっかりと引掛け、本体固定ねじを2カ所締め付けて本体を固定します。

ねじは本体をしっかりと壁に押しつけて締め付けてください。

本体と固定板の固定が十分であることを確認してください。



## 11 差込みプラグをコンセントに差し込みます。

以上で取付完了です。次の点検項目により点検をおこない異常がないか確認してください。

点検

- (1)スイッチ引きひもの操作は、引掛かりなどなくスムーズに操作できるか。
- (2)換気扇を運転したとき、異常音、異常振動がないか。
- (3)各部の取付強度は十分か。
- (4)コーキングの外観は良好か。